

テーマ②:チームとして太郎さん(家族)をどのように支援していきますか?

① 職種の名前	② 支援できるところ		③ 支援が難しいところ	④ ③について協働する職種
	誰に	どのような		
介護福祉士	本人	入浴手順の声掛け	本人が入浴に入りたがらない時	サービス調整のため、ケアマネ
		日中の活動の声掛け	日中に眠りがある理由が分からない	
	妻・家族	トイレ誘導の仕方を指導	通帳管理	長女
		介護保険サービス利用の提案	本人への対応の仕方、ピアサポート	認知症カフェ、家族の会
作業療法士	本人・妻	役割の再獲得	妻の精神面の負担感を減らす 妻が発散できる場の提供	サービス調整のため、ケアマネ 家族会等
		自助具、食器の色の提案	本人に対する声かけ	介護福祉士から妻へ
		通帳の直し場所を決める		
		便器の向きの理解等ができる工夫	トイレの実演まで出来ない	
理学療法士	本人・妻	反復練習		
		家族指導（VRで）	VRはどこで借りるか	包括、市役所
認知症地域支援推進員	妻・家族	対応方法、症状の進行具合を伝える	医療や薬について	医師 薬剤師
		民生委員へ繋ぐ		
	妻	息抜きの場合、リフレッシュの場合、楽しみの場を紹介する	介護負担の軽減	サービス調整の点でケアマネ 状況把握の点でデイ職員の方
	地域住民	認知症についての普及啓発		
看護師	妻・家族	場面での関わり方	病状の説明や変化	医師 薬剤師
	本人・妻	夜間の排泄状況の確認	薬（眠剤等）の調整	
		睡眠状態の把握		
		デイサービス等で機能訓練や口腔体操を促す	1つ1つの手足の動かし方や訓練・体操のメニューをより詳しく本人に合ったものを考える	理学療法士 作業療法士

テーマ②:チームとして太郎さん(家族)をどのように支援していきますか?

① 職種の名前	② 支援できるところ		③ 支援が難しいところ	④ ③について協働する職種
	誰に	どのような		
看護師(訪問看護)	本人・妻	内服薬の服薬状況、飲み方	服薬を拒むことが続いた時	主治医、薬剤師
		緊急時の対応		
	妻・家族	精神的なフォロー	外出の機会を増やす	デイやリハに相談
介護福祉士 (訪問介護)	本人・妻	冷蔵庫の中を一緒に確認して買いに行く		
		役割を持つこと、生きがい趣味に対しての本人の思いを妻も共有できるようにヘルパーと一緒に家庭菜園などをおこなう(自費支援)		
歯科医師、歯科衛生士	本人・家族	口腔ケアや口腔機能	生活環境を毎日見守ることが忙しい	多職種で現状の確認
		食事の様子を観察	通院	デイサービス、近所の方、ボランティア
ケアマネジャー	本人・家族	介護保険サービスの提案、調整	具体的な環境の提案	福祉用具事業所 訪リハ等のセラピスト
		地域の資源につなぐ	つい、カッとする時の本人との接し方	家族の会、嘱託医等へ相談
管理栄養士	家族	食事について変化があれば教えてほしい。	食べ方の変化がある時	医師
薬剤師	本人・家族	一包化して日付の記載	服薬の有無の確認	関わる全ての職種、家族
		服薬カレンダーやケースでの管理		
社会福祉士	本人・家族	社会資源、情報提供 「通帳を盗った」と言われた時の対応について助言	トイレ誘導の仕方	専門医、認知症の人と家族の会
精神保健福祉士	家族	トイレの足元に足形の目印	家族だからこそ指摘してしまう	初期集中支援チーム、市、包括
		否定をしないことを伝える		

テーマ②:チームとして太郎さん(家族)をどのように支援していきますか?

① 職種の名前	② 支援できるところ		③ 支援が難しいところ	④ ③について協働する職種
	誰に	どのような		
保健師	本人・家族	血圧安定、内服不安定か健康診断で経過を見る	環境整備	ケアマネジャー
		重症化予防	リハビリ	理学療法士 作業療法士
			内服支援	薬剤師
家族の会	妻	困っている事、大変な思いをしている事など話を聞く	認知症に対して理解ができていない時	
老人会会員	地域住民(会員)	今までの体験談(母、姉の介護体験)を話す		
医師	本人・家族	症状の理論を伝えることが出来る	生活の直接的な場面を見られない	各職種